

2. 農家所得向上と地域農業振興にかかる取り組み



組合員と地域住民の交流の場として、朝市の支援を行い、地元農産物のPRに努めています。



当JA管内で生産された「あいちのかおり」を原料にした「あまの雫(甘酒)」と「あまの和(どぶろく)」を販売し、お米の消費拡大を図っています。



肥料・農薬の定期的な価格調査による低廉化や、特別セールによる資材のコスト低減に取り組んでいます。またJA共済連の地域農業活性化助成金を活用し、肥料・農薬の予約購入者へ合計約800万円の助成を行いました。(助成金の振込みは、9月に組合員へ、12月に出荷部会へ、2月にオペレーターへ行きます。)

3. 准組合員の農業応援団化の取り組み



准組合員には、グリーンプラザで使える「グリーンプラザクーポン券」を、貯金キャンペーン予約利用者には朝市やグリーンプラザで使える「農業応援チケット」を発行し、地産地消を促しています。

「グリーンプラザクーポン券」は3,757枚の使用があり、「農業応援チケット」は8,383枚の使用がありました。



「農業体験」「農業塾」「子どものうぎょうきょうどうくみあい」などを通じて、農業に興味を持ってもらい、地域の方へ食と農の大切さを伝えています。



准組合員向けの広報誌などを発行し、地域農業のPRを行っています。



12月1日より、准組合員加入時に下記の地域農業応援一例を紹介しています。また、准組合員加入申込書へ「地域農業の振興に賛同」の文言を追加し、地域農業応援団化への意識強化を図っています。

地域農業応援一例

- 1. 地元朝市の利用
- 2. 地元農産物の購入
- 3. 地域環境の美化活動
- 4. JA事業の利用

地域の皆さまの協力のもと、農業の更なる発展のために、組合員の皆さまからの期待や要望に応えています。

「JA海部東の取り組み」

JA海部東は

- 1. 組合員との徹底した議論
- 2. 農家所得向上と地域農業振興にかかる取り組み
- 3. 准組合員の農業応援団化の取り組み

の3つを柱に、将来の農業と地域づくりを目指し、具体的な行動計画、目標等を設定し進捗状況を管理しながら「自己改革」に取り組んでいます。

自己改革 実践中

1. 組合員との徹底した議論



総代500人を訪問
今年度10月下旬より、常勤役員が総代の皆さま500人の自宅を訪問し、JAの自己改革の取り組みの報告と、総代の皆さまの意見聴取を行いました。



営農・出荷組合、朝市などの会員と意見交換会を開催し、現状と取り組みについてさまざまな質問や意見が飛び交いました。



組合員と意見交換会を開催し、「自己改革」への理解と協力を求めつつ、事業運営に意見を反映しています。